



「菊水町内会連絡協議会」

平成23年 新年互礼会開催

平成 23 年「白石区新年互礼会」が白石区町内連合会連絡協議会の主催で開催されました。今年 は 1 月 5 日 (月) 午後 4 時より札幌フローラにおいて (宮川) 白石区長、各担当部長、各関係機関のご来賓を始め白石区内の連合町内会役員や各団体の役員出席のもとに、日頃お世話になっている関係者とのご挨拶や情報交換が活発に行われていました。



又、「菊水町内会連絡協議会の新年互礼会」は、1月7日(金)午後6時より、菊水地区会館において(宮川)白石区長、関係機関の役員、地域の各団体役員出席のもとで開催されました。近年、菊水地区の活発な地域活動は「独居老人宅の安否確認」「防犯パトロール」「福祉のまちづくり活動」「まちづくりネットワーク会議の安全・安心活動」や「ふれあい交流会」「お年寄りとお子どもの交流会」「子育てサロン」「雪中運動会」等々、地域活動はまさに関連団体同士の連携や協力が大変重要になっています。組織が違って、共通の話題が弾みます。



「成人の日」記念行事 コンベンションセンターで開催

1月10日(月・祝)新春を迎え、社会の一員として晴れやかなスタートをきる新成人を祝福し、その前途激励する白石区「成人の日」記念行事がコンベンションセンターにおいて開催されました。当日は晴天に恵まれ、大勢のご来賓をお迎えした中で、羽織袴や振袖、ホールはまぶしいばかりの晴れ姿に身を包んだ新成人でいっぱい。会場に訪れた新成人は1109人。(全対象者は1824人出席率は60.8%)。



式典が行われた会場では、各卒業校の担任の先生より「お祝いの言葉」をビデオ上映し、式典直前には札幌本陣太鼓の演奏。旧友との久しぶりの再会に話しも弾み、会場入り口は身動きがとれない程の混雑に、スタッフもお慌てで、式典開始前に入場出来ないのではと心配するも、式典開始前に入場完了。ほっと一息!

「お年寄りと子どもの交流会」開催



1月8日(土)菊水地区会館において、地域の「お年寄りと子どもの交流会」が開催されました。これは昔遊びの伝承や世代間交流などを目的に、菊水地区まちづくりネットワーク会議が主催し、地域の各団体が協賛して実施しているものですが、まちづくりネットワーク会議の真鍋会長の挨拶の後、全員でゲーム前の準備体操を行い、早速即興のチームを作って、ボーリング、輪投げ、折り紙、お手玉、ごま回し等の昔遊びを大人と子ども達と一緒に楽しんでそう。



特に、今の子ども達の遊びは、ゲーム機や、パソコン等のデジタル系に囲まれている中で、手足や、身体を使っての遊びは新鮮に映るらしく、夢中で楽しんでいました。ゲームの後は、昼食タイム……。ボランティアのおばさん達の手づくりカレーライス。初めて参加した私の孫も、何時もは食べないカレーライスをこの日ばかりは美味しそう。何時も参加される、老紳士は「子ども達は元気いっぱい愛嬌もあって可愛い。心も体も立派な大人に成長してもらいたい」と笑顔で話ししていました。

菊水地区「雪中運動会」市立上白石小学校で開催

2月5日(土)午前10時～札幌市立上白石小学校において、第13回菊水地区「雪中運動会」が開催され、地域子ども達を中心に404名

(子ども286名、大人118名)が参加しました。この「雪中運動会」は「菊水地区青少年育成委員会」と「菊水地区まちづくりネットワーク会議」が共催で毎年、菊水地区の各小中学校や児童会館、白石区子育て支援係、民生委員・主任児童委員、おやじの会が協力して実施しているものですが、当日は晴天に恵まれ、参加した子ども達は、幌東中学校生徒会の皆さんが進行役となってゲームを楽しく盛り上げ、雪の上を競争したり、大きなサイコロの出目を予想したり、ざぶとん取りゲームをしたり……子ども達も大喜び。

ゲーム終了後は、上白石小学校PTAのお母さん方に作って頂いたぶた汁を食べたり、暖かいココアを飲んだり、皆でおいしく頂きました。

子ども達は、おやじの会のお父さん方が作った、イグルーの中には入って「なんだか基地の様だね」「暖かいね」……そんな会話が聞こえました。

閉会式は、来年度の当番校、札幌市立幌東小学校PTA会長さんの歓迎の挨拶で終了となりました。

閉会式の後には、各学校教頭先生と教務担当先生が「〇〇学校の生徒はこちらに集合」……子ども達を集め、学校まで引率して帰るとの事。

聞けば、子ども達の引率は学校側が自主的に考えて頂いたものです。

「市立上白石小学校の皆さん、有難うございました。」

「市立幌東小学校の皆さん、来年はよろしく願いいたします。」



地域で子ども達を見守ろう！「子ども110番の家」

不審者による子ども達への“声かけ”“後をつけられた”“足で蹴られた”“痴漢被害”・・は、私たちの身近な所でも発生しています。私たちの住むこの地域が、子ども達にとっても安全・安心なまちでなくてはなりません。菊水地区ではPTA・学校・町内会等関係団体によって通学路の防犯パトロールや青色回転灯パトロールを実施しています。又、青少年育成委員会では、お店に買い物などに訪れた子ども達に声をかけて頂き、子ども達に、悪影響を及ぼすものは「売らない」「見せない」そして、健やかに安心して暮らせるように見守って頂く「青少年を見守る店」登録推進運動を実施しています。菊水地区は現在 120 店のご協力を頂いています。

今回、菊水地区 PTA4 校連絡協議会の討議の中で、通学路に面した一般家庭においても、これらの活動に賛同して頂ける方にSOS「子ども110番の家」のステッカーを表示して頂き、この家に駆け込むと、第一に安全を確保し、第二に気軽に110番通報により対応して頂く意志表示となり、犯罪の抑止にも繋がると思います。また、通学路でこのステッカーを見かければ子ども達も安心。

SOS「子ども110番の家」の協力内容は

- 1, 不審者から逃げるための、一時避難所。
- 2, 落ち着かせて、話を聞く。
- 3, 自宅か、110番に連絡をする。



“主にコンビニ等の販売店にお願”



“一般ご家庭にお願”

「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ってなんですか？

札幌市では、平成 19 年 4 月に「自治基本条例」が施行されました。これは市民が主役になって「まちづくり」を進めるためのルールです。市民、議会、行政のそれぞれの役割や、仕組みが規定されています。「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心でいるのではなく、ひとりでも多くの市民が参加し「自分達の地域は自ら考え、皆と一緒によりよくしていく」そして「行政と連携・協働しながら地域づくりをして行く」これが「住民自治」であり「菊水地区まちづくりネットワーク会議」です。地域のことは、地域に住む人が一番よく知っています。困っていることがあれば、まず自分達でやってみる、必要なら行政と協力して問題を解決して行く、これが「住民自治」です。



2月11日午後2時46分発生の東日本大震災は、三陸沖を震源とする強い地震が発生、宮城県北部で最大震度7、地震の規模は気象庁によるとマグニチュード9.0を観測した。死者と行方不明者数は15,000人を超えと言う。被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。さて、今回ほどこの地震の怖さを思い知らされたことは無い。地震後の津波に襲われる生々しい様子がテレビで幾種類も放映された、多分ほとんどは素人によって撮ったものだろう。世界中の人が津波の怖さを十分に認識したものと思う。また、福島第1・第2の原発事故も生々しい映像が連日放映されている。国民がこの映像を見る限り、原発の安全神話を疑うことは間違いない。しかも、制御や測定を電気で行っているにも関わらず、非常用電気は、ディーゼル発電機、バッテリー、変電設備も津波によりダウン。確か、安全装置の最終段階は機械系で行うはずなのに、こんなバックアップ設備では現地作業員もお手上げ、被爆の恐怖、パニックの中、作業員の士気と責任感には敬服する。 編集子